

いしおか 市議会 だより

No.99

令和8年 第1回定例会

(2月24日～3月19日)

Ishioka City Council News -No.99-

定例会は
年4回

3月

6月

9月

12月



市政を動かす議論、まちの未来を見据えて(写真/上空から見た石岡市役所本庁舎)

INDEX

—特集—

令和8年度予算、議会はどう見た? ～予算特別委員会～	2	定例会・臨時会ドキュメント	6
市長に対する不信任決議を可決 ～第1回臨時会・第1回定例会の注目点～	4	代表質問	11
		一般質問	13
		常任委員会の活動	21

令和8年度予算、 議会はこう見た？

予算特別委員会 [3月9日～3月12日]



令和8年度一般会計予算

総額 355億2,000万円

(前年度比 +6億9,000万円)

主な事業内容と予算額

■産科医療施設開設支援基金	1億円
■地方就職学生支援	386万5千円
■文京区スポーツ交流事業	159万3千円
■指定文化財等保存事業補助金	486万1千円
■公共施設予約システムの拡充	676万5千円
■プラスチックごみの再資源化事業	742万3千円
■公営上水道基本料金の一部減免	2億2,016万円
■防犯カメラ設置補助金	100万円
■高齢者補聴器購入費補助金	90万円
■学校給食管理システムの導入	905万3千円
■産業用地の確保と企業誘致の推進	6,403万6千円

予算特別委員会



新年度の当初予算案を詳しく審議するために、全議員が委員となり設置されるのが「予算特別委員会」です。

1～3日目は、各常任委員会（総務企画・文教厚生・産業建設）が所管する部分についてそれぞれ審査が行われ、最終日となる4日目には、政策的判断を要する部分などを問う総括審査と採決が行われます。委員会の審査結果は、定例会最終日に本会議で報告された後、議会として「可決」「否決」等の意思決定が行われます。

各委員の質問の持ち時間は、各日1人当たり30分。限られた時間の中で、疑問点を市執行部にぶつけます。

委員会で質問が多かった主な事業を、Q&A形式でまとめました。

寄附金

ふるさと応援 寄附経費

質問者数

ふるさと納税に係る広告料
33万円など

3人

問 サイトの中で注目度をアップさせるための広告料だが、全てのサイトで取組をしていくのか、数を絞って取り組むのか？

答 17サイトを運用している。ふるさとチョイスを利用した寄附額が多いので、ここに一番広告を行い、寄附額の増額を目指していきたい。

問 郵便料が昨年より減額となっているが、理由は？

答 寄附1件当たりの単価が今年度は若干高い状況を見越し、昨年は1万8,000件の返礼を想定したが、今年は1万4,000件と想定。

財政

財政推計（試算）

質問者数

健全財政維持に向けた事務
事業等見直しを

6人

問 今後の市税の見込みは？

答 市税は103億3,150万9,000円で、対前年度と比較すると2.4%の増となる。増額の要因は、物価高騰、人件費上昇等の影響による収入増を見込んだもの。

問 昨年度より基金残高のマイナスが大きくなっている要因は？

答 歳出において、人件費、扶助費、投資的経費、普通建設事業が大きく伸び、全体として歳入の伸びよりも大きくなり、基金残高のマイナスが大きくなったもの。

学校 **公立学校情報整備事業** **質問者数**
 通信環境改善委託料 283万9千円 **3人**

問 通信環境改善委託料の内容は？また、全ての小中学校を対象としている事業なのか？

答 ネットワークアセスメントの結果を踏まえ、各種課題に対応するための経費。ネットワーク設定の変更、回線の改修工事費等となっている。ネットワーク設定変更、回線工事は、全校実施する予定。ケーブル改修等については柿岡小学校、スイッチングハブ改修は八郷中学校を対象として実施する予定。

問 改善後の効果はどのようなものなのか？

答 通信の安定性、パソコン機器の環境、パフォーマンス等の向上が期待できる。

産科誘致 **産科医療施設開設支援基金** **質問者数**
 基金積立金 1億円 **2人**

問 令和8年度に1億円の積み増しをしなければならない根拠は？

答 誘致によって開設した産科医療施設では、開設支援に4億4,000万円、運営支援に1億5,000万円の10年間という成功した支援事例があることを踏まえ、1億円の積立をお願いしている。

問 最終的な目標として3億円の基金の積立とした根拠、理由は？

答 先進事例や、誘致で複数法人を当たったときの値頃感を踏まえた。法人からも、開設支援3億円、運営支援1億円が10年間程度あれば安定して運営ができ、開設後の定着が図れる申出もあった。3億円を確保しておけば、単年度に過度な負担がかからず対応できると考えている。

防犯 **安全・安心まちづくり推進事業** **質問者数**
 安心して暮らせる環境整備 **2人**

問 令和8年度に予定されている工事の内容は？また、現時点でどのような場所に設置を予定しているのか？

答 防犯カメラの新設を2台、交換を4台予定している。新設の2台は、府中中学校区、八郷中学校区を予定している。

問 居宅等防犯カメラ補助金の補助内容は？

答 個人宅の防犯カメラ設置経費の機器購入、取付けに要する経費などを補助対象経費とし補助率は2分の1、上限2万円を補助するもの。

トンネル **上曾トンネル維持管理経費** **質問者数**
 定期点検委託料 3,626万2千円 **2人**

問 定期点検と書いてあるが、1年過ぎた時点で定期点検をするということか？

答 ジェットファン、照明、電気室そのものの中の制御盤を点検する内容。こちらを年に1回、毎年、定期的に点検をする。

問 朝日トンネルは県が負担していることだが、朝日トンネルが県、上曾トンネルが市というのは、どの段階で決まり、どういう違いがあるのか？

答 朝日トンネルは、供用開始後5年の中で、石岡市、土浦市から県に移管されたもの。移管後は県が管理している。上曾トンネルは、移管が決まっていないので、石岡市と桜川市が共同で管理する形で進んでいる。

これらの質問を踏まえた
 審査結果は6ページ以降へ！

 **総務企画**
 **文教厚生**
 **産業建設**
 **総括**

▲すべての質問を網羅した、予算特別委員会の録画映像はこちら

市長に対する不信任決議を可決 ～第1回臨時会・第1回定例会の注目点～

第1回臨時会・第1回定例会では、議員から複数の決議案が提出されたほか、補正予算に対する修正動議など様々な動きがありました。

議会で議題となった4つの案件について取り上げます。

①「複合文化施設基本設計委託契約の延期を求める決議」

第1回臨時会(1月30日)では、山本進議員ほか11名の議員から「複合文化施設基本設計委託契約の延期を求める決議」が提出され、賛成多数で可決しました。決議の概要は、以下のとおりです。

複合文化施設基本設計委託契約の延期を求める決議(概要)

執行部に対し、複合文化施設基本設計委託契約の締結を拙速に進めることなく、事業者選定の過程、審査体制、評価方法等について再検証し、議会及び市民に対する十分な説明と情報公開を行った上で、改めて、適正な手続きに基づいて事業を進めることを強く求め、2月末に予定している複合文化施設基本設計委託契約の延期を求める。



▲決議の全文はこちらから

②「執行部が議会に対し責任感と緊張感をもって臨むことを求める決議」

第1回定例会、議会運営委員会から「執行部が議会に対し責任感と緊張感をもって臨むことを求める決議」が提出され、全会一致で可決しました。決議の概要は、以下のとおりです。

執行部が議会に対し責任感と緊張感をもって臨むことを求める決議(概要)

令和8年3月3日付で、石岡市長から令和8年第1回定例会に提出された議案2件に関して訂正請求書が提出された。令和5年第3回定例会から今期定例会まで、11回の定例会において訂正等が行われている。これだけの訂正があるということは、執行部が十分な確認を行っていないということは間違いなく、さらに言えばそれは責任感の欠如であると考えられる。

市長をはじめ執行部においては、二元代表制の意味でもある市長と議会の相互抑制と均衡による緊張関係を保つためにも、適切な事務執行に当たっていただくことを望むものである。



▲決議の全文はこちらから

③令和7年度石岡市一般会計補正予算(第8号)を修正可決

第15回産業建設委員会(令和8年3月17日)での議論

公園維持管理経費(八軒向第三公園屋外トイレに関する経費)4,926万5千円について、各委員が質疑しました。

問 本件については、国土交通省のガイドラインに沿った標準的な設計であると答弁をもらっている。ガイドラインの内容を確認したところ、ガイドラインで示された数の倍近い便器の数であったことが分かった。執行部としては、そういう説明を議会に対して行ってきたという事実をもって、どのような見解を今持っているのか。

答 委員からの指摘のとおり、過剰ではないかと言われているところである。トイレは必要であることから、整備を推進してきた。委員会で指摘を受けたことは重大に感じているので、今後トイレを整備する中では、財政状況も考え、コスト意識を持ちながら今後は進めていきたいと考えている。

採決の結果、賛成多数で原案可決すべきものと決した

第1回定例会閉会日(令和8年3月19日)

櫻井茂議員ほか5名の議員により、繰越明許費のうち公園維持管理経費(八軒向第三公園屋外トイレに関する経費)4,926万5,000円を補正予算案から減額修正する「議案第13号・令和7年度石岡市一般会計補正予算(第8号)に係る修正の動議」が提出され、採決の結果、全会一致で可決しました。

また、修正部分を除く部分については、全会一致で原案のとおり可決しました。

④「谷島洋司市長に対する不信任決議」

山本進議員ほか12名の議員から「谷島洋司市長に対する不信任決議」が提出され、賛成多数で可決しました。決議の全文は、次ページのとおりです。

※「○」は議案の議決に賛成、「●」は反対、「-」は退席等。

※不信任決議は議長も採決に加わります。

3分の2以上の議員が出席し、その4分の3以上の賛成があったため可決

鈴木 将史	富田 雅史	中根 淳一	鈴木 康仁	飯村 一夫	新田 茜	川井 幸一	櫻井 茂	岡野 孝雄	玉造 由美	勝村 孝行	谷田川 泰	小松 豊正	山本 進	村上 泰道	関口 忠男	池田 正文	菱沼 和幸	岡野 孝男	高野 要	鈴木 行雄
-	●	●	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	○	○	●	○	-	-	○	○

谷島洋司市長に対する不信任決議(全文)

石岡市消防職員による偽造通貨行使罪による逮捕・起訴という重大な不祥事を受け、市長はその監督責任として自らの給与を一月10%減額する条例案を令和6年12月定例会に提出した。市長は「これまでの例を参考にした」と説明したが、前例のない犯罪行為に対する監督責任としては著しく軽い措置であり、監督責任を十分に自覚しているとは到底言えないとして議会の強い反発を招いた。その結果、同条例案は否決され、令和6年12月20日、市議会は市長辞職勧告決議を賛成多数で可決するに至った。

しかしながらその後も、市長からは市政運営に対する真摯な反省や議会との信頼関係を回復しようとする姿勢は見られなかった。

令和7年2月25日の第一回定例会開会日においては、職員不祥事に対する監督責任を十分に感じていない市長の姿勢に対し、議員が次々と議場から退席する事態となり、会議は中断した。その中断中、市長はSNSに「議会はひどい」と投稿した。市長は同年1月22日の記者発表において「反省すべきは反省し、議会と対話したい」と述べていたにもかかわらず、議会对する投稿を行ったものであり、議会との対話を重んじ相互理解を深めようとする姿勢が見られないとして、市議会は二度目となる市長辞職勧告決議を賛成多数で可決した。

また、営利目的の民間事業者に対し、地方自治法の趣旨を逸脱して教育施設である八郷運動公園の利用を許可したうえ、その使用料を減免申請書の提出がないにもかかわらず全額免除した問題において、市長は自らの責任を十分に省みることなく、職員のみを懲戒処分するなどの対応を行った。このことを受け市議会は、市長給与の30%減額を可決した。市長はこれを異に唱え再議を要求したが、令和7年9月11日、議会は改めて賛成多数で給与減額30%を可決した。

さらに令和7年度予算において、八軒向第3公園の屋外トイレ建設費として4千926万円の予算が計上された。執行部は「地元住民からの要望を受けて」と説明したが、その後、住民約1千名から「予算が高すぎる」「規模が大きい」「犯罪や防犯面への不安がある」などの理由により屋外トイレ建設に反対する陳情が令和7年10月27日に市議会に提出された。委員会審査では、すでに予算化されていることや執行部から「国土交通省のガイドラインに沿った標準的な規模」との説明がなされたことから、建設を進める場合には住民説明会の早期実施と今後の方向性の周知を求めることを妥当とし、陳情は「一部採択」とされた。しかしながら、その後執行部から委員会への十分な報告はなかった。

そのような中、令和8年2月20日、八軒向第3公園屋外トイレ建設問題について地域住民から申し込まれた「市長と語る会」が開催された。この場における市長の発言について、市長公室が作成した報告書および録音記録を確認したところ、市長は「このトイレは議会が作れと言ってきた」「本音の話、私自身トイレが5千万円もすると聞いて驚いた」「議会が認めたものを止める決断は難しい」「議会が強くてトイレを止めさせてくれない」「議会はいやがらせ、辞職勧告や給与減額とかやられっぱなしなんですよ」「トイレの問題で不信任を出されたら議会を解散する」「住民運動を起こして議員を説得して、お前らに票を入れないぞと、来年4月の選挙では今回のテーマを判断材料にして議員を選んでほしい」「八郷地区は地区を代表する議員さんがいるが、石岡地区は地域が繋がっていない気がする」「地元の人しか来ないのでトイレは作れないと私自身は断っていた」などの発言を行っていたことが明らかとなった。

これらの発言は、地方自治法に定める二元代表制の仕組みを正しく理解しているとは到底言えないものであり、市長の専権事項である予算編成権および執行権について、あたかも議会がそれを奪ったかのような印象を市民に与えるものである。また、自らの提案によって計上した事業について、その責任を議会に転嫁し、議員を誹謗中傷するような発言を行うことは、市民に対する著しい誤解を与えるものであり、極めて不適切である。

この発言の真意を質すため、産業建設委員会が令和8年3月6日に開催された。市長は20数回にわたり「誤解を与えたことは申し訳ない」と謝罪したが、発言の内容そのものは誤解ではなく事実であり、過去にもSNS投稿や各種団体との会合の場において議会批判を繰り返していたことが団体機関誌等から明らかになっている。

さらに委員会審査において、執行部が議会に対し「国交省ガイドラインに沿った標準的な規模」と説明してきたトイレ計画が、実際にはガイドラインの趣旨を正しく踏まえたものではなく、便器数はガイドラインの基準を上回る一方で、障がい者用駐車場からトイレまでの動線整備など、バリアフリーの観点で重要とされる事項が考慮されていないことも明らかとなった。執行部は最終的に「標準とは言えない」と答弁を翻しており、議会の中立公平な審査に必要な正確な情報提供が十分に行われていなかったことは、二元代表制の趣旨に照らしても看過できない問題である。地域住民との話し合いで議会对する誹謗中傷した発言と合わせ、執行部の代表である市長はその責任を逃れることはできない。

また、令和8年度予算審査の初日において、市長の議会批判発言について謝罪を求めるため市長の所在を確認したところ、市長は登庁しておらず連絡が取れないという事態が生じた。予算審査という市政の根幹に関わる場面において、提案者である首長が特段の理由もなく登庁していないという状況は前代未聞であり、首長としての責任感の欠如を示すものである。その後、市長は「体調不良により自宅にいた」と説明したが、全員協議会に出席した際の態度からは、市政運営の責任者として緊張感や自覚が十分に感じられるものではなかった。

以上の一連の出来事は、単なる個別事案の問題ではなく、市長として求められる資質そのもの、すなわち市政を担う責任感、議会との信頼関係を築く姿勢、そして行政の最高責任者としての自覚が著しく欠けているという根本的な問題であり、もはや自覚を促し、改善を求める範囲を超えていると言わざるを得ない。

市長と議会は、二元代表制の下でそれぞれ市民の負託を受け、市民福祉の向上と市政の発展のために協力しながら市政を運営していくべき存在である。しかしながら、市長のこれまでの言動はその前提となる信頼関係を著しく損ない、市政運営に重大な混乱と停滞をもたらしている。

よって石岡市議会は、6万8千余の市民の代表として石岡市政への信頼を守る責任に鑑み、谷島洋司氏を石岡市長として信任することはできないと判断し、ここに谷島洋司石岡市長に対する不信任を決議する。

不信任決議を受け、谷島市長は令和8年3月27日、地方自治法の規定に基づき、石岡市議会を解散しました。

**定例会・臨時会
ドキュメント**

◆第1回臨時会 [1月30日]
◆第1回定例会 [2月24日～3月19日]

第1回臨時会 補正 予算2議案可決

第1回臨時会では、専決処分の承認を求める議案1件と補正予算1件の、計2議案が市長から提出されました。

専決処分の承認議案の内容は、令和8年2月8日執行の衆議院議員総選挙に要する経費を計上した令和7年度一般会計補正予算(第6号)です。

令和7年度一般会計補正予算(第7号)は、9億4220万7000円を追加し、歳入歳出総額を36億303万9000円とするもので、国・県の補助事業の追加、変更等に伴う経費及び緊急性の高い

事業等に対応する経費で構成されています。歳出の内容としては、総務費において、長引く物価高の影響を受けている市民を支援するため、物価高騰対策応援給付金として1人当たり5000円を、併せて75歳以上の方に4000円を加算し現金給付を行う、物価高騰対策応援給付金給付事業4億4794万8000円などです。

提案理由の説明後、各事業の詳細などについて質疑がなされ、採決の結果、全会一致で可決しました。

第1回臨時会 決議 案を可決

山本進議員ほか11名から「複合文化施設基本設計委託契約の延期を求める決議」が提出され、採決の結果、賛成多数で可決しました。

第1回定例会 令和 8年度予算の審議

第1回定例会では、令和8年度各会計予算、令和7年度補正予算、石岡市行政手続条例の一部改正など、市長から56件の議案が提出さ

れました。

このうち、令和8年度予算編成について、市長からは「昨今の物価の高騰など、行財政を取り巻く環境は厳しいが、人口減少等の対策や複雑化・多様化する課題に対し柔軟に対応しながら、持続可能な社会を創り上げていき、限られた財源を効果的・効率的に活用し、総合計画の将来像である『誰もが輝く未来へ 共に創る石岡市』を表現していくため、予算編成を行った」との説明がありました。

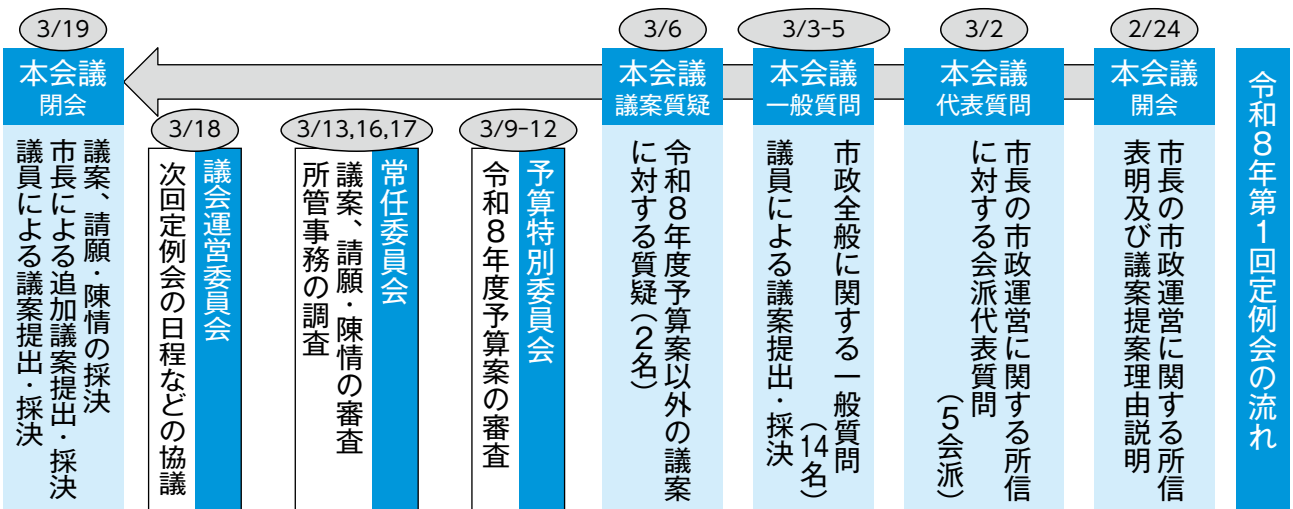
議会では、令和8年度各会計予算を詳しく審査するため、予算特別委員会を設置して4日間にわたって審査を行いました。

定例会最終日に予算特別委員長から「いずれも原案可決すべきもの」との審査結果が報告され、討論の後、採決を行った結果、令和8年度各会計予算はいずれも原案のとおり可決しました。

基本理念

1. 安全・安心
2. 魅力・発信
3. 対話・学び

▲石岡市総合計画の将来像達成のための「基本理念」



令和8年度予算以外 の主な議案の概要

令和7年度一般会計補正予算(第8号)は、8億7058万2000円を減額し、歳入歳出予算総

補正予算の主な事業と予算額		
臨時会 第1回	■物価高騰対策応援給付金給付事業	4億4,794万8千円
	■過誤納還付金(国・県負担金精算に伴う返還等)	1億5,945万5千円
第1回定例会	■通勤・通学支援事業	632万円
	■保育等運営経費	1億8,604万9千円
	■市営住宅維持管理経費 住宅改修工事	1,601万6千円

額を359億3245万7000円とするもので、事業費の確定等により財源調整が必要な経費、国・県の補助事業の追加、変更等に伴う経費、緊急性の高い事業等に対応する経費で構成されています。

石岡市犯罪被害者等支援条例の制定は、犯罪被害者等の支援の基本となる事項を定めることにより、安全かつ安心して暮らすことのできる社会の実現に寄与するよう条例を制定するものです。

石岡市職員の給与に関する条例及び石岡市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正は、人事院勧告に伴い、これに準じて本市職員の手当等を改正するものです。

石岡市行政財産の使用料徴収条例の一部改正は、行政財産の使用料徴収における使用料の算定方法の見直しに伴い、所要の改正をするものです。

石岡市基金条例の一部改正は、令和8年4月1日に石岡市ふれあい交流施設やささと温泉ゆりの郷を民間事業者へ無償譲渡することに伴い、基金の目的及び処分を市内観光施設整備及び維持管理に変更するものです。

財産の取得に関する議案18件は、これまで石岡市議会の議決に

付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条に基づく議決は不要と整理していた賃貸借契約のうち、賃貸借期間終了後に無償譲渡の特約がある契約について、実質的に財産の取得と考えられることから、議決に付すべきものと認識を改めたこと、また、そのほかにも議決に付すべきと考えられる契約があったため、「追認」として議会の議決を求めるものです。

和解議案は、令和7年12月27日、石岡市嘉良寿理地内にて職員が公用車運転中に発生した物損事故について和解するものです。

議会運営委員会から 決議案が提出され可決

3月3日付で、執行部より議案の訂正請求書が提出されました。それを受け、一般質問2日目の3月4日、議会運営委員会から「執行部が議会に対し責任感と緊張感をもって臨むことを求める決議」が提出され、全会一致で可決しました。

定例会最終日 修正 動議提出

櫻井茂議員ほか5名から議案第13号・令和7年度石岡市一般会計補正予算(第8号)に係る修正の動議が提出されました。

市長から提出された議案等は、最終日に追加提出された令和7年度一般会計補正予算(第9号)を除き各委員会に付託して審査を行い、最終日に採決を行った結果、令和7年度一般会計補正予算(第8号)は修正可決、そのほかはいずれも原案のとおり可決しました。

定例会最終日 市長 に対する不信任決議 案を可決

山本進議員ほか12名から「谷島洋司市長に対する不信任決議」が提出され、採決の結果、賛成多数で可決しました。

NEXT: 質疑から読み解く「ギカイの視点」

質疑から読み解く

ギカイの視点



条例

予算

第1回定例会

条例

行政財産の使用料徴収条例

使用料の算定方法の一部改正

条例第4条の使用料の算定において、これまで最小単位を月単位としていたが、短期的な利用ができるよう最小単位を日単位とするもの。

問

条例改正を行う理由は？

答

他の自治体において、行政財産の空きスペースの有効活用や自主財源の確保などに取り組んでおり、行政財産の管理や活用方法の考え方も変化している。行政財産の有効活用の推進と自主財源の確保を目的として柔軟に使用を許可できるよう、使用料の算定方法の見直しを行うもの。

問

想定される改定というのは、どのくらいの施設が対象になるのか？学校関係の施設等も含まれると思うが、具体的な数字は？

答

現在把握できる数でいうと190。基本的には独自に設置管理条例が定められているので、設置管理条例の定めに基づき使用料を徴収することになるが、例えば、施設の駐車場の空きスペースを使用する場合は定めがない場合があるので、行政財産の使用料徴収条例に基づき使用料を算定することになる。

第1回定例会

条例

石岡市特定乳児等通園支援事業の運営条例に関する基準を定める条例

通称「こども誰でも通園制度」が開始

令和8年度から開始される通称「こども誰でも通園制度」において、市が利用者へ給付すべき給付費は、法定代理受領形式により、事業者（保育園等）へ支給される。このため、利用定員の設定や会計処理、重要事項の説明など、運営上のソフト面の要件を定め、給付費を受給するための事業者の適格性を判断する条例を、国から示された基準を踏まえ制定するもの。

問

特定乳児等とはどのような乳幼児を指すのか？

答

生後6か月から満3歳未満の未就園児で、さらに、保育所や認定こども園などの認可施設のどこにも在園していない子。

問

この事業を石岡市において実施する施設はどれくらいあるのか？

答

現在のところ4施設から、令和8年度中の実施の意向が示される。

第1回定例会

請願
陳情

請願・陳情の審議

受理した請願・陳情のうち、請願1件、陳情3件について結論を出しました。（続きは次ページ）

- 「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択の請願（紹介議員：小松豊正）【不採択】

請願趣旨「最低賃金の全国一律制度を確立し、地域間格差を縮小させるための施策を進めること」「中小企業への具体的経済支援策を国の責任で拡充すること」「茨城県の最低賃金を、物価高対策として令和8年10月に1,500円以上に引き上げ、最低生計費試算調査結果を踏まえ1,700円を目指すこと」を要望する旨の意見書を政府及び関係機関へ提出することを求める。

委員会の意見「低い賃金を何とか上げて、苦しい生活の方への支援となるようにということでの思いは十分分かるが、項目をひとつずつチェックしていくと、現実問題としては厳しいのかなという気がする」などの意見が出されました。

- 石岡市内高等学校に各種選挙時の期日前投票所の設置を求める陳情【不採択】

陳情趣旨若年者に地方行政・政治・経済・社会問題などに強く関心を持ってもらい、国民の幸福と繁栄、発展を真剣に考える市民・国民の代表者を選んでいく必要があるため、市内の各高等学校に各種選挙時の期日前投票所を設置するよう求める。

委員会の意見「まずは、移動式投票所という部分が重要」「費用もかかることから移動式投票所の移動先というほうが具体的に進められる方法」などの意見が出されました。

請願
陳情

請願・陳情の審議(2)

●八郷総合支所の庁舎の経年劣化による修繕個所の速やかな修繕及び長寿命化工事の実施による八郷総合支所機能の充実を図ることを求める陳情【不採択】

陳情趣旨 八郷総合支所の1階の電動カーテンが故障したまま放置され、昼間も暗い状況。庁舎の空調を行う冷温水器の経年劣化により、夏季の庁舎温度が30度の状態で職員の労働条件の悪化や来庁者の印象を悪くしている。正面玄関入口は雨漏りが発生している。修繕を適切に行い、長寿命化工事を実施して、八郷総合支所機能の充実を図るよう求める。

委員会の意見 執行部から現状の説明受け、「当陳情においては、全ての部分において網羅されている」などの意見が出されました。

●石岡市における相続財産を相続放棄してしまい管理されなく放置された空家、空き地に係る対策を求める陳情【不採択】

陳情趣旨 「市長の職務権限で空家バンクに登録し、県外・市外から当市に移住したい方に優先的に土地、家屋を斡旋する」「管理できない家屋・土地の売却を不動産会社へ相談するよう指導」「相続土地国庫返納制度の手続きがあることを指導」「空家等解体費用補助金交付額を増額する」といった対応を行い、安全・良質で安心できる居住環境の実現に向けて、様々な施策を講じるよう求める。

委員会の意見 「陳情者の願意は一定程度理解できるところではあるが、この陳情内容全体を見たときに、実現が困難な対策も含まれていると思う」などの意見が出されました。

議案の審議結果

■全会一致で可決

第1回臨時会

予算	専決処分の承認 (令和7年度石岡市一般会計補正予算(第6号))
	令和7年度石岡市一般会計補正予算(第7号)

第1回定例会

	令和8年度石岡市駐車場特別会計予算
	令和8年度石岡市霊園事業特別会計予算
	令和8年度石岡市介護サービス事業特別会計予算
	令和8年度石岡市水道事業会計予算
	令和8年度石岡市公共下水道事業会計予算
	令和8年度石岡市農業集落排水事業会計予算
	令和7年度石岡市一般会計補正予算(第8号)修正案
	令和7年度石岡市一般会計補正予算(第8号)修正部分を除く部分
予算	令和7年度石岡市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
	令和7年度石岡市駐車場特別会計補正予算(第1号)
	令和7年度石岡市霊園事業特別会計補正予算(第1号)
	令和7年度石岡市介護保険特別会計補正予算(第3号)
	令和7年度石岡市介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)
	令和7年度石岡市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
	令和7年度石岡市水道事業会計補正予算(第3号)
	令和7年度石岡市公共下水道事業会計補正予算(第3号)
	令和7年度石岡市農業集落排水事業会計補正予算(第3号)
	令和7年度石岡市一般会計補正予算(第9号)
条例	石岡市行政手続条例の一部改正
	石岡市印鑑条例の一部改正

第1回定例会

条例	石岡市犯罪被害者等支援条例の制定
	石岡市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び石岡市職員の育児休業等に関する条例の一部改正
	石岡市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正(学校医等の報酬増額)
	石岡市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正(保育所嘱託医等の報酬増額)
	石岡市職員の給与に関する条例及び石岡市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正
	石岡市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例及び石岡市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正
	石岡市職員の旅費に関する条例の全部改正
	石岡市行政財産の使用料徴収条例の一部改正
	石岡市基金条例の一部改正
	石岡市医療福祉費支給に関する条例の一部改正
その他	石岡市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定
	石岡市火災予防条例の一部改正
	財産の取得(追認) (H28(仮称)こども図書館建物賃貸借(中央図書館)(債務負担行為))
	財産の取得(追認) (令和2年度 行政情報系・LWANネットワーク機器借上【債務負担行為】)
	財産の取得(追認) (令和2年度住民情報系システム機器借上【債務負担行為】)
	財産の取得(追認) (令和3年度 シンククライアント端末機器借上【債務負担行為】)
	財産の取得(追認) (令和3年度未来いしおか商品券)
	財産の取得(追認) (令和3年度ハイブリッドシンククライアントシステム機器借上【債務負担行為】)
財産の取得(追認) (令和4年度 石岡市燃やすごみ専用袋購入)	
財産の取得(追認) (シンククライアント端末機器借上【債務負担行為】)	

■全会一致で可決

第1回定例会	
その他	財産の取得(追認) (インターネット接続系ネットワーク機器借上【債務負担行為】)
	財産の取得(追認) (グループウェアシステム借上【債務負担行為】)
	財産の取得(追認) (令和5年度 石岡市燃やすごみ専用袋購入)
	財産の取得(追認) (庁舎ネットワーク機器借上【債務負担行為】)
	財産の取得(追認) (令和6年度 小中学校校務用パソコン機器借上【債務負担行為】)
財産の取得(追認) (令和6年度 石岡市燃やすごみ専用袋購入)	

第1回定例会	
その他	財産の取得(追認) (令和7年度シンククライアント端末機器借上【債務負担行為】)
	財産の取得(追認) (令和7年度行政情報系・LGWANネットワーク機器借上【債務負担行為】)
	財産の取得(追認) (令和7年度庁舎ネットワーク更新・保守委託【債務負担行為】)
	財産の取得(追認) (令和7年度 石岡市燃やすごみ専用袋購入)
	和解について(公用車の物損事故に係るもの)
「石岡市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について」の一部変更	
議員提出	執行部が議会に対し責任感と緊張感をもって臨むことを求める決議

■賛否が分かれたもの(賛成多数で可決)

※「○」は賛成、「●」は反対、「-」は退席等
※議長は、採決に加わりません。

議員名		議員名																				
		鈴木 将史	富田 雅史	中根 淳一	鈴木 康仁	飯村 一夫	新田 茜	川井 幸一	櫻井 茂	岡野 孝雄	玉造 由美	勝村 孝行	谷田川 泰	小松 豊正	山本 進	関口 忠男	池田 正文	菱沼 和幸	岡野 孝男	高野 要	鈴木 行雄	
臨時第1回	複合文化施設基本設計委託契約の延期を求める決議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
第1回定例会	令和8年度石岡市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和8年度石岡市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和8年度石岡市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和8年度石岡市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	石岡市国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

■賛否が分かれたもの(賛成少数で不採択)

議員名		議員名																			
		鈴木 将史	富田 雅史	中根 淳一	鈴木 康仁	飯村 一夫	新田 茜	川井 幸一	櫻井 茂	岡野 孝雄	玉造 由美	勝村 孝行	谷田川 泰	小松 豊正	山本 進	関口 忠男	池田 正文	菱沼 和幸	岡野 孝男	高野 要	鈴木 行雄
第1回定例会	「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択の請願(紹介議員:小松豊正)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	○	●	●	●	●	●	●
	石岡市における相続財産を相続放棄してしまい管理されなく放置された空家、空き地に係る対策を求める陳情	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●

■賛成なしで不採択

第1回定例会	
陳情	石岡市内高等学校に各種選挙時の期日前投票所の設置を求める陳情

第1回定例会	
陳情	八郷総合支所の庁舎の経年劣化による修繕個所の速やかな修繕及び長寿命化工事の実施による八郷総合支所機能の充実を図ることを求める陳情

《会議の欠席状況》なし

【おわびと訂正】

いしおか市議会だより第98号におきまして、掲載している内容に次のとおり誤りがございました。訂正しておわびを申し上げます。

- ・6ページ ギカイの視点
財産 「やさ温泉ゆりの郷」魅力向上及び周辺の観光の活性化に向けて
- 【財産の無償貸付】
【誤】無償譲渡する財産(土地)【正】無償貸付する財産(土地)

市長に聞く！

代表質問

[3月2日]

市政に関する調査研究などの議会活動を共同で行う「会派」を代表する議員が、市長の所信表明の内容を直接問いたず代表質問。
所属議員3人以上の会派が質問することができます。

質問会派 (人数)	所属議員 (◎は会派代表者)	質問者	質問項目	頁
しほうかい 紫峰会 (7名)	◎岡野孝男、関口忠男、村上泰道、谷田川泰、中根淳一、富田雅史、鈴木将史	富田雅史	令和8年度市政運営に関する所信と施策概要	11
せきしょうかい 石翔会 (3名)	◎川井幸一、櫻井茂、新田茜	川井幸一	令和8年度市政運営に関する所信と施策概要	
ちしんかい 知新会 (3名)	◎池田正文、勝村孝行、飯村一夫	池田正文	令和8年度市政運営に関する所信と施策概要(案)	12
しせいかい 至誠会 (3名)	◎山本進、鈴木行雄、高野要	山本進	令和8年度市政運営に関する所信と施策概要	
じみん こうめい 自民・公明クラブ (3名)	◎菱沼和幸、玉造由美、岡野孝雄	菱沼和幸	令和8年度市政運営に関する所信と施策概要	


(注) 会派及び所属議員の構成は、代表質問実施(令和8年3月2日)時点のものです。

※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧ください。

しほうかい
紫峰会

**プロジェクトをま
たいだ取組を**

【質問者】富田 雅史



動画

問 令和8年度は、総合計画に基づく市政を進める上での折り返し地点になります。よいものは伸ばし、課題は分析と改善を行い、市政を底上げし、選んでもらえるまちを目指し、共に協力していきたいと思えます。

特色ある出産・子育て環境を用意する上で、産科誘致とセットで、ヘリポートなどの準備をして、安心して出産する体制はどうでしょうか。考えを伺います。

人口減少対策に位置づけられている移住推進事業と空家対策事業など、事業を組み合わせることはできないでしょうか。垣根を越え連携することで、今まで以上の効果を上げることが可能と思えます。


答 緊急対応用のヘリポートの設置は、関係法令上設置が可能か、また、誘致先医療法人の意向も確認する必要があります。現在、ドクターヘリが離着陸可能な場所は、茨城電設スポーツパーク(石岡運動公園)など複数箇所があります。新たなヘリポート、ランデブーポイントの必要性について、誘致先医療法人と協議しながら検討します。

プロジェクトをまたぐ取組は、大変効果的であると考えます。移住推進事業の中で空き家活用講座に参加した方を中心に空き家活用のためのDIY講座を実施しましたが、今後もプロジェクトをまたぐ連携した事業について取り組むたいと思えます。

せきしょうかい
石翔会

**市民の要望に
手厚い施策を
する**

【質問者】川井 幸一



動画

問 老朽化による給水停止や水位低下による節水の呼びかけが続いています。昼夜を問わず、水道課職員の対応により、ライフラインが維持されている状況が見られます。安心安全な水の供給は、市民が住みたい、住み続けたいと思えるまちづくりの基盤です。この水道事業についてどのような考えなのか伺います。非常に重要な市民生活において早急に解決していただきたい重要な問題だと思います。

市民にとつての優先順位を行政の進める優先順位にすべきだと思います。幅広い薄い施策や政策よりも、市民の要望に答えられるような、手厚い施策や事業が、今後、石岡市の生きる道だと思います。

答 水道事業は、施設の老朽化に伴う大量更新、人口減少に伴う料金収入の減少から、経営環境は厳しさを増し継続的な経営健全化の取組が求められます。市民生活や地域経済のライフラインとして重要な役割を担い、サービスの提供を安定的に継続しなければならぬと思えます。異常気象で極端な大雨が頻発、雨が長期間降らない二極化が進み、湧水や乾燥など、取水施設の様々なリスクにも備えなければならぬと思えます。

今後は、水道の持続可能な供給体制を確保するため、茨城県企業局を統合先とする水道事業の経営の一体化に向け、水道の広域連携の取組を進めたいと思えます。

ちしんかい
知新会

今必要なのは強い
リーダーシップ

【質問者】池田 正文



動画

問

予算編成に向け市長が発したビルド・アンド・スクラップ、事務事業の見直しの指示、どういふ方向で見直しの指示をしたのか伺います。

施政方針、リーダーシッププロジェクトの選定に当たり市長はどのような役割を果たしているのか伺います。

ほかの事業を牽引し、その事業を推進することではかの事業も一層円滑に展開している事業をリーダーシッププロジェクト事業というと思います。新しいリーダーシッププロジェクトに向け作成方針を一新し、まず市長が自分の考えを明らかにし、各部署からリーダーシップと呼ぶにふさわしい事業を出すような考え方に転換すべきであると思います。

答

健全財政維持のための事務事業等を見直しを全庁を挙げ取り組みます。令和8年度当初予算編成過程で明らかとなった課題点を踏まえ、必要な対策を講じていく考えです。引き続き、全庁一丸となって取り組みます。私もその先頭に立ってまいります。

市の課題や市民からの要望等を踏まえ、私からのトップダウン、担当部局からのボトムアップにより提案があったものですが、最終的には財政担当での査定を踏まえ、優先順位をつけ、事業化したものです。令和8年度においては、特に人口減少対策プロジェクト、中でも少子化対策推進のための妊娠期・出産支援に力を入れたところでです。

しせいかい
至誠会

政治的リーダーシップを厳しく問う

【質問者】山本 進



動画

問

石岡市は、人口減少と財政制約という極めて厳しい局面にあると言えます。その中で、改めて伺います。市長は任期中に、人口減少対策として何を必ず実現するのか。また、財政制約下においてどの政策を優先し、どの政策を抑制するのか。市政運営の優先順位と成果責任を、市長ご自身の政治判断として明確に示してください。

答

人件費や物件費の上昇等から、当市の財政はより硬直化が進み、厳しさは年々増しています。そのような中でも、喫緊の課題である人口減少対策に取り組んでいかなければなりません。人口減少対策を優先して実施しますが、特に令和8年度は、少子化対策として、産科医療施設の開設に向けて取り組みます。令和7年度に引き続き令和8年度において、事務事業の見直しを行います。縮小や廃止を行わなければならないものもあります。そういった事業については、市民や議会の皆様に丁寧な説明に努めます。厳しい状況の中ですが、当市の発展のために全力で取り組みます。

所信とは本来、前年度の成果と課題を検証し、その上に次の政策を積み重ねていくべきと考えます。市長の実行責任とその過程を議会として厳しく注視し、検証してまいります。

じみんこうめい
自民・公明
クラブ

オール石岡で未来のビジョンを描く

【質問者】菱沼 和幸



動画

問

「すべての市民が幸せを感じられる社会、特に子どもたちが石岡に誇りをもって自らの未来に夢を描ける社会」の実現のためには、共生・共育・共働の基本方針の下、オール石岡で取り組むと述べられました。行政財政改革や高浜駅周辺の整備事業を含め、市長として10年後、20年後のビジョン、またブランドデザインの構想を伺います。

答

石岡市総合計画基本構想を策定し、当市が10年後に目指す将来像を「誰もが輝く未来へ 共に創る石岡市」としています。この将来像達成に向け、誰一人取り残さない持続可能でよりよい社会の実現への取組を様々な主体が共有し、誰もが輝く未来をつくり上げる石岡市を目指します。まずは令和8年度に、高浜駅周辺から広域的に一体性のあるエリア整備の方向性、将来像の青写真を描きます。継続的かつ安定的に施策を打つ上で現状課題となっているのが、現在の財政の硬直化です。令和7年度も事務事業の見直しを行いました。引き続き事務事業の見直しを継続し、健全財政の維持に努めます。

トップリーダーである市長の判断に伴って、執行部をはじめ市の職員が一丸となつて、また我々議会もまた市民も、本当に石岡市のブランドデザインをしっかりと見据えて、そこに進んでいかなければ、当市の未来はないと私は思います。

市政を問う！

一般質問

[3月3日～3月5日]

各議員が、市の行う事業の内容を問いただしたり、政策提案をしたりする一般質問。議員と市執行部との真剣勝負が繰り広げられます。

※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者こと録画映像をご覧いただけます。

質問者	質問項目	頁
川井 幸一	柿岡商店街の活性化 地域特性をいかした商店街づくりと支援策の強化	14
	八郷地区の小中一貫校の整備 整備内容と現在の進捗状況	
新田 茜	石岡市における産科誘致	15
	石岡市における持続可能な財政運営に向けた事業の再設計	
山本 進	プラスチックごみの再資源化事業	15
鈴木 康仁	姉妹都市及び友好都市 都市計画の見直し	
池田 正文	水道事業 (八郷地区)	16
谷田川 泰	新たな工業団地の整備 早期完成と本市の経済力の強化に向けた取組	
		市有財産の有効活用 未利用の土地や学校の現状と有効活用の取組
櫻井 茂	放課後児童クラブの運営	17
	基金の運用	

質問者	質問項目	頁
岡野 孝男	石岡市水道事業 (八郷地区) 土砂等による土地の埋立て等	17
	石岡市の水道事業 期日前投票	
小松 豊正	重点支援地方交付金 高齢者に対する補聴器助成制度の運用	18
	水道事業 合併特例債活用事業	
飯村 一夫	上林・上曽線の整備 複合文化施設 (市民ホール)	19
	街路樹及び道路標識等の道路附属物の安全対策	
中根 淳一	常陸風土記の丘の更なる魅力向上に向けて 再生可能エネルギー導入の推進と地域景観保護の両立	20

紙面の都合上、 で色付けした項目のみ掲載しています。

※スマホなどで、各議員のページに掲載している二次元コードから、すべての質問の録画映像をご覧いただけます。



※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者こと録画映像をご覧いただけます。



かわい こういち
川井 幸一

柿岡商店街の活性化 守り、継続させ、 発展させる 施策を



動画

問 これまで柿岡商店街の活性化について、幾度となく具体的な取組を提案して、執行部の取組を期待していましたが、従前どおりというか、むしろだんだん縮小しているように感じています。

「コミュニティづくり等、様々な事業がなされていますが、柿岡地区においても同様の施設を、仮称まちの駅として整備していくことも必要ではないかと考えます。この点について、伺います。」

答 商店会や関係機関との話し合い等の状況ですが、市で事業を実施する場合は、新たな事業等を検討する場合などについても、その都度商店会等と協議検討を行い、ご意見等をいただき、連携協力を図りながら進めているところです。

また、以前提案してきた、石岡地区の商店街の中心に、空き店舗を活用したまちかど情報センターがあり、情報発信やイベントの開催、休憩スペース、物販、

まちかど情報センター同様の施設を仮称まちの駅として柿岡商店街の空き店舗を活用しての整備については、柿岡商店街の活



あかね 新田
あかね 新田

産科医療施設誘致の進捗 状況と実現に向けた思い を問う



動画

問 昨年、誘致活動を行ってきた医療法人と前向きな検討を行えることとなったとの報告が議会になされました。神奈川県藤沢市を拠点とする医療法人社団桐杏会と説明されましたが、実績と選定した経緯を伺います。

「昨年、誘致活動を行ってきた医療法人と前向きな検討を行えることとなったとの報告が議会になされました。神奈川県藤沢市を拠点とする医療法人社団桐杏会と説明されましたが、実績と選定した経緯を伺います。」

答 神奈川県に13件、埼玉県に1件展開する、産婦人科系を中心とした医療法人です。市内の産科、県内、県外と段階的に誘致活動を拡大し、その中で実現可能性のある提案をいただき、協議を始めました。

さらに、今後のスケジュールについて伺います。

自治体に産科があることは、石岡市のような規模の自治体には非常に強みとなると思います。県内44市町村中24自治体が産科ゼロで、そのほとんどが今も誘致活動を続けてい

ると思います。実現すれば、全国の自治体のモデルケースになるので、ぜひ成功させてほしいと思います。市長の産科誘致に対する決意を伺います。

進め、負担割合は協議中です。
基本的事項に関する協定を締結後、負担金割合等の協議及び具体的事項に関する協定締結への協議を進め、令和10年度中の開設を目標とします。
産科医療の充実、まちの将来そのものを支える基盤政策と言え、必ず実現させるとの強い決意で取り組んでいます。特に重要なのは産後ケア体制の一体的整備で、最大限の支援策を講じ、安心して出産・子育てができる環境づくりに全力で取り組めます。



▲八郷地区の特産品はこちら





山本 すすむ
やまもと

プラスチックごみの再資源化事業の今後の展開について問う



動画

問 石岡市は、令和8年度のリーディング事業として、ゼロカーボンに向けた取組の一つにプラスチックごみの再資源化事業を位置づけ、予算を計上しています。循環型社会の形成や温室効果ガス削減の観点から、その方向性自体は理解しますが、制度選択、広域処理との関係、委託体制、製品化といった事業の根幹部分が、市民に十分に示されているとは言えません。持続可能な資源循環施策とするためには、制度的・実務的な設計を明確にする必要があると考えます。

影響は生じないのか伺います。
本事業は今後どのように展開していくのか伺います。
最後に市長の見解を伺います。

答 当市において取組を始めたことによる霞台厚生施設組合への影響は、霞台厚生施設組合の年間焼却量と比較してごく少量であり、当面は施設全体の運転計画に影響を及ぼす規模ではなく、事業費への影響も少ないと考えます。今後は、一般家庭からのごみの排出量などを注視しつつ、霞台厚生施設組合と情報共有を図ります。

令和8年度以降、廃プラスチックからプラントナーを製作し市民に還元することで、再資源化の意義を3年程度かけて市民に周知します。分別収集が定着したら、廃プラスチックの回収を集積所で実施して、回収量の増加につなげ、再商品化の量の増大にもつなげたいと考えています。

プラスチックごみの再資源化は、当市初の取組となります。プラスチック資源循環法の趣旨に基づき廃プラスチックの再利用を促進し、地域における循環型社会の構築を目指したいと考えます。



▲環境省HP



鈴木 康仁
すずき

人口減の抑止力、一刻も早く都市計画の見直しを



動画

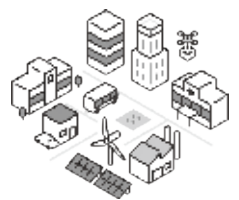
問 近年、石岡市では人口減少や少子高齢化が進行する一方、市街地の空洞化など都市構造の変化が顕在化している状況の中、これまでの都市計画制度が、現在及び将来のまちづくりの実態に対応できているのか、改めて検証する必要があると考えます。人口動態や土地利用の現状を踏まえた用途地域の見直しについて、どのような課題の認識を持ち、今後検討を進めていく考えがあるのか伺います。

都市計画から市街化区域まで見直さなくては、人口も減る一方であり、産科だけでは人が増えるとは考えられなく、全てをトータル的に考える中でどういったまちづくりを必要と考えているか伺います。

答 用途地域の見直しは令和7年度、都市計画基礎調査を行い、3月末に結果が報告されるため、その結果や立地適正化計画との整合性、他市町村の事例などを踏まえ、必要性を検証していきたいと考えます。

として、市街化区域の隣接区域を中心に12地区で区域指定制度を設け、都市計画法の許可が取れば、出身、要件を問うことなく住宅の建築が可能なため、市街化区域の土地利用を補完している状況です。現在、市街化区域において60%台の宅地率ということで、まず市街化区域に宅地を呼び込みたいと考えます。都市計画の見直しは必要であると認識しています。都市計画基礎調査を基に分析し、中心市街地を含め勘案しながら、都市計画を検討したいと考えます。

市街化調整区域は、市街化区域との区別という形で現在も進めています。その中で、市街化区域に弾力的に人を呼び込むための方策



※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧ください。



池田 まさふみ
いけだ まさふみ

課題山積の水道事業の今後の対応策は



動画

問 八郷地区の水道は連日のように節水の呼びかけがなされ、安全安心な水を安定的に供給できず、改善せず放置することは、行政の怠慢です。水道の3原則である清浄・豊富・低廉、これは安全で十分な量の水を安価に安定供給し、公衆衛生向上と生活環境改善を図るもので、命の根源につながります。それらを踏まえ、八郷地区の水道事業の成り立ちについて伺います。

課題と今後の対応策を伺います。水道事業の課題は山積し、対応も多く、どのように取り組むのか伺います。

答 八郷地区の水道事業は、昭和58年度に簡易水道事業の管理運営に関する諸問題解決のため、上水道への移行が調査・検討され、10か所に統廃合された簡易水道事業を再統合し、上水道事業へ移行しました。以降、二度の事業変更を行い、給水人口及び給水量の増加に伴う、第1回出張の認可を平成12年に受け、現在に至ります。

管路図について、備付けはありますが、民地管もあるため、管理が大変難しい状況です。漏水箇所があった場合には確認をし、民地管

最後に、水道事業の

管路図について、備付けはありますが、民地管もあるため、管理が大変難しい状況です。漏水箇所があった場合には確認をし、民地管



▲茨城県HP
水道事業の経営の一体化に関する取り組みについて

の場合は公道上に切り回す形で、管路図の修正等を行いつつ、把握しています。

法定耐用年数40年を経過する管路が、令和6年度末時点で布設総延長の38.5%の15万3299メートルあり、更新工事を早急に進めることが非常に重要と考えます。社会資本総合整備の防災・安全交付金といった国の交付金を有効活用し、令和10年4月の茨城県における水道事業の経営の一体化に向け、老朽管更新工事をさらに進めます。



谷田川 やすし
やたがわ やすし

新たな工業団地整備に向けたスケジュールと地区計画策定の進捗状況は



動画

問 新しい工業団地の整備は、様々な場面で機会を捉え、早期整備を強く求めてきました。企業進出により働く場が確保され、人口の流出の歯止めがかかり、移住・定住施策との併合で若い世代の呼び込みが可能となり、多くの自主財源確保も想定されます。このように、早期整備により石岡市の経済状況はすばらしく強化されることが期待できます。執行部では、新たな工業団地整備に向けた取組がされていると思いますが、全体の整備スケジュール、年度ごとの整備内容、新たな工業団地の整備面積、整備に伴う全体予算を伺います。

また、地元説明会等での地域の方々等の反応を伺います。

答 正上内地区内で進めている地区計画策定は、令和6年度から開始し、想定エリア約20ヘクタールのうち約7.6ヘクタールを第1期地区として整備予定で、関係機関協議や都市計画審議会での審議をお願いするところとです。令和8年度から区域内の道路、排水路の設計、令和9年度から用地測量、補償調査、10年度から用地買収工事と進める予定です。企業の立地部分は民間開発の予定です。地区計画策定は事

また、整備に伴い、都市計画法上、地区計

業実施の確実性が求められる、道路や排水路の整備は、市が進めることを想定しています。全体予算の見込みは、今後の設計等により、工事に必要な規模を精査します。

本計画は工業系の用地活用を想定し、住宅や500平米以上の店舗等の制限、壁面の位置や高さ等の制限を行う予定です。地権者への意向調査と説明会を各2回開催、昨年10月には住民説明会を開催し、おおむね前向きな意見をいただきました。



▶石岡市企業立地ガイド

※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者こと録画映像をご覧ください。



さくらい しげる
櫻井 茂

問 石岡市には、令和6年度決算書ベースで29の基金があります。基金について

は安全性を優先するため、基金単位で何本にも振り分けて定期預金とし、長く続いてきた日本の低金利の中にあつては、僅かな利子収入に甘んじてきています。国東市では、2020年度から2022年度の運用利回りは、歳計現金で0.652%、基金は0.962%です。この時期の定期預金金利は0.0092%のようでした。国東市の基金運用利回りの100分の1です。

この議場内にいる方々の中で金融の知識が最も豊かなのは、多分市長じゃないかと私は思っています。そうした点を踏まえて、基金

歳入確保のため、効果的な運用を

基金の



動画

の一括運用、債券運用について、市長の考えを伺います。

自由に使えるお金がないんだと嘆くばかりではなく、どうやって果実を勝ち取るかは、市長の判断次第だと思います。ほかの自治体は100倍の運用利益を上げています。それを考えれば、チャレンジする価値は十分にあるのではないかと思います。

答

昨今の市政運営を取り巻く経済状況を鑑みると、物価高対策や小学校の統合をはじめとした大型公共事業など、多額の費用が見込まれる事業が多く予定されており、必要な財源の一つとして、基金が挙げられます。基金の設置目的に

合わせて、必要なときに必要な金額を準備していくことが重要だと認識しています。基金の活用ですが、非常に金利上昇局面です。そういった中で、基金の一括運用や債券運用など、安全性を確保しつつも有利な方法で運用することが大切であると思っています。現在の経済情勢や金利の動向などを見極めながら有利な資金運用を行うことは、市の健全財政に寄与する大切な事項ですので、適時適切に資金管理方針なども見直すなど、判断をするよう指示をしていきたいと考えます。



▲石岡市の財政健全化判断比率はこちら



おか の たかお
岡野 孝男

問 30年に一度の渇水だと言われているこの頃ですが、防災行政無線にて節水のお願いが毎日午後7時過ぎに放送されています。水不足が心配されるが、現状はどうなっているのか伺います。

令和8年も長期予報によると猛暑である。30年に一度が毎年起きることもなくはない。節水の先には給水制限や計画断水ということも起きかねない。そうならないための対策について伺います。

水道事業は、水を売り、使用料を徴収し、事業の円滑化を図る。その水を節水のお願いで十分に売ることができなければ、事業が円滑に進まず、市民の日常生活にも影響し、水道事業が機能しなくな

八郷地区における水道事業の安定化のため、現状と今後の対応は



動画

ります。水道事業の円滑化対策について伺います。

答

猛暑等の影響により水位が約30センチまで下がり、その後回復したところで、1月から水位が再び低下し、令和8年2月18日時点で0.88メートルでした。昨年11月中旬から降水量の少ない状態が続き、井戸の取水量減、小規模漏水の散在、寒波の影響による宅内漏水など様々な要因が重なっていると考えます。

対策として、配水量が急増したエリアの漏水調査を行い、特定できた場合には速やかな修繕工事が重要と考えます。自宅敷地内での漏水発見及び修理依頼等についても、防災ラ

ジオで知らせるとともに、漏水修理工事の協力をお願いしています。

人口減少社会に伴う料金収入の減少、老朽化施設の更新等による支出増加など、経営環境が急速に厳しさを増し、市町村単独での取組には限界があります。持続可能な供給体制確保のため、水道の広域化が推進されています。水道施設全体の最適化による費用削減、県と市町村水道事業の経営の一体化による業務の共同化・効率化などが期待されます。



※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧ください。



たまづくり よしみ
玉造 よしみ

八郷地区の浄水場設備の耐震計画と修繕方針について問う



問 中央浄水場では井戸は11か所あり、下林浄水場には2か所、山崎浄水場では1か所、園部浄水場では2か所、合計で浄水場4か所、井戸16か所になります。八郷地区の水道の仕組みと現状を伺います。

今後の方針について伺います。

答 給水区域は中央浄水場、園部浄水場、下林浄水場、山崎浄水場の4つあり、4か所合計で50施設、水源地は16です。猛暑の影響や冬の記録的少雨等により、中央浄水場にて取水量が減少していると思われる場所が一部あります。中央浄水場では、井戸水のほかに県西から、下林浄水場は湖北水道企業団からも送水を受けています。

ます。

急速ろ過機の法定耐用年数は15年から20年とされ、これに合わせ更新計画も立てることが最も合理的だと認識しています。平成28年に山崎浄水場ろ過砂交換工事、令和6年度に下林・山崎浄水場原水弁修繕工事など、修繕を行いつつながら現在稼働しています。浄水場の今後の方針は、茨城県企業局を統合先とする水道事業の経営の一体化を現在進め、現在の中央浄水場配水池を残し、新設石岡配水池を設置して水を供給する計画です。

下林系、山崎系、園部系の浄水場では、急速ろ過機の法定耐用年数15年となっており、下林系、山崎系では約30年、園部系では約41年が経過し、施設全体が老朽化しています。これまでの修繕内容や、

令和8年度から浄水場、配水池、増圧場等の施設の耐震診断を行う計画となっています。また、老朽化した管路の更新を進めていくことで、耐震化も同時に推進したいと考えて



こまつ とよまさ
小松 とよまさ

高齢者の補聴器補助制度の実現について



問 高齢者に対する補聴器助成制度の運用について質問したいと思えます。まず、石岡市の場合、高齢者に対する補聴器購入助成制度はどのようになっているのか伺います。

答 高齢者に対する補聴器助成制度は、令和6年第4回定例会で採択された、高齢者の加齢性難聴者に対する補聴器購入助成制度の創設を求める陳情を受け、県内市町村の実施状況や高齢者の加齢性難聴について調査研究を行ってきました。その結果をもって、令和8年度の創設に向けて制度設計に取り組んでまいりました。高齢者への補聴器購入の支援は、難聴による日常生活への支障を改善、認知症予防や健康寿命延伸が期待されるため、令和8年度の当初予算に高齢者補聴器購入費補助金として計上しました。

令和7年度時点で実施している市町村は、14市町村です。制度自体様々であり、それらの違いが自治体によってあるので、それぞれの制度を参考に制度設計を行ったところです。高齢者の補聴器補助は、市民の皆様から補助制度創設の要望が寄せられ、来年度当初予算に高齢者補聴器購入費補助金を計上しています。高齢者補聴器購入費補助金の創設により、日常生活での支障が改善され、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、引き続き高齢者の日常生活を支援します。

最後に、このことについて、市長も積極的な推進の方向で考え、また皆さんを引っ張られたと思えますので、そのことについて、市長の見解も伺います。

令和7年度時点で実施している市町村は、14市町村です。制度自





いいむら 飯村 かずお 一夫

道路を整備し、高浜地区の開発につなげる考えは



動画

問 貝地・高浜線で
すが、令和7年

9月10日の全員協議会
で、費用や時間がかか
ると見込まれ、今整備
で一旦完了し、今後の
国道6号千代田石岡バ
イパスの進捗状況を鑑
みて事業着手をするか
見極めると、答弁しま
したが、私は特例債事
業を使えば有利と認識
しています。

国道6号の恋瀬橋北
交差点から高浜駅付近
をくぐり愛郷橋の交差
点まで、今の県道石岡
田伏土浦線につながれ
ばいいと思います。こ
れは事業の構想です
が、6号から茨城空港
までつなぐ隧道、アン
ダーパスでつなげると
いうような道路です。
これをやることによっ
て高浜地区の開発や学
校の活用ができる

と思いますが、考えを伺
います。

令和12年まで延長す
れば、税収も上がらな
い、活性化もなされな
い、そういう体制に
なっていくと私は思
います。合併特例債事業
の各事業計画につい
て、どのように進めて
いくのか伺います。

答

昨年開通した6
号からの飯岡石
岡線がアンダーパスや
上を通って茨城空港ま
で行くことになれば、
交通体系が大分変わ
り、高浜駅利用者も増
えると考えます。逆に、
飯岡石岡線から小川の
ほうに抜ける道路がで
きれば、貝地・高浜線
の代替道路になると考
えられるので、そう
いった構想を今後展開
できれば一番いいと考

えます。

昨今の物価高騰に伴
い、各事業の整備に要
する費用も高騰してい
ます。令和8年度以降
継続する事業について
は、既存路線の整備に
要した合併特例債の残
額を全て複合文化施設
(市民ホール)整備事業
に配分すると全員協議
会にてご報告していま
すが、過剰な計画とな
らないよう、各課にお
いて事業費を精査し、
予定している事業が完
了できるよう、全体管
理を進めます。



▲全員協議会の会議録
はこちら



たかの 高野 かなめ 要

上林・上曾線 当初計 画路線の整備はやるの か、やらないのか



動画

問

都市計画道路の
見直しについて
伺います。上林・上曾
線をやるのかやらない
のか。やりますと言っ
ておきながらやらな
い、計画になかったほ
うを先に整備してしま
う。上林・上曾線につ
いて、今整備を始めて
いる暫定道路を計画路
線として見直せばいい
のではないですか。

では、過剰な計画とな
らないよう、各課にお
いて事業費を精査し、
予定している事業が完
了できるよう、全体管
理を進めます。

答弁を聞いても、私
は、石岡市が真剣に上
林・上曾線に取り組ん
でいるとは思えないわ
けです。造りたいもの
であれば真剣に取り組
むべきです。課題があ
るからまとまらないの
であれば、まとめるの
です。しっかりと検討し、

問

協議して、当市がよく
なるようにしたいとい
うことではないのかと
思う次第です。市長が
先頭に立って県と協議
をしなくてはならない
と思います。今後どの
ように取り組んでいく
つもりなのか、市長に
伺います。

答

都市計画道路の
見直しは、国土
交通省の都市計画運用
指針において、都市計
画基礎調査や都市交通
調査の結果を踏まえ、
地域整備の方向性の見
直しと併せて、必要性
や配置等の検証を行い、
必要がある場合には変
更を行うべきとされて
います。現時点では安
易な計画変更は難しい
と考えますが、今年度
実施の都市計画基礎調
査の結果や、暫定路線

完了後の実際の交通量
を見極めながら、見直
しの必要性も検討して
いきたいと考えます。

上林・上曾線の当初
計画路線は、上曾トン
ネル開通により、県南
地区と県西地区におけ
る地域間交通が活発化
されるだけでなく、
生活道路の利便性や安
全性の向上が図られる
重要な路線だと認識し
ています。様々な課題
があることから、まず
は暫定路線の整備を優
先的に取り組み、今後
の事業化だけではなく、
都市計画道路の見直し
についても検討するよ
う指示していきます。



▲国土交通省H.P
都市計画運用指針
はこちら

※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧ください。

※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧ください。



なかね じゅんいち
中根 淳一

デジタル技術（DX）を活用したインフラ維持管理業務システムの実現を



動画

問 街路樹や道路標識が、老朽化・

老朽化により倒壊する事故が全国で発生しています。背景として、人口減少に伴うインフラの維持管理を担う人材不足が想定されます。

デジタル技術を活用したインフラ維持管理業務システムの実現について伺います。限られた財源、マンパワーの中で、数あるインフラの修繕履歴、老朽化の度合い等の重要な情報を一元的にいかにか把握するかが鍵ですが、その情報管理は難しいものです。多くの地方公共団体でも課題となり、近年、ICTやAIの技術を活用した取組が進んでいます。デジタル技術の活用について、どう捉えているのか伺います。

石岡市でも、既に道路台帳や下水道台帳など電子化は進んでいると思えますが、今後の

デジタル技術やソフトウェアを取り入れた台帳や管理の方法に関する考えを伺います。

最後に市長に、当市の将来のインフラの維持管理の在り方について伺います。

答

デジタル技術の活用は、行政サービス向上や業務効率化を図る上で重要な取組であり、修復履歴など経過状況の把握が可能となり、適切な維持管理につながると認識しています。

デジタル技術の導入は大変有効と考えます。十分な検討が必要のため、実証的な取組の事例や財政支援など

の可能性の調査研究をしたいと考えます。

近年、全国各地で道路陥没や街路樹の倒木等による多くのインフラ施設の被害事例が確認され、当市でも多くの施設の老朽化が顕在化し、安全性確保の重要性について強く認識

しています。デジタル技術を生かしたインフラ施設の維持管理は、非常に大事だと思

います。検討を進め、インフラ施設の適正な管理を進め、利用者が安心して利用できる環境づくりに取り組みます。



ますずき まさふみ
鈴木 将史

常陸風土記の丘のポテンシャルを十分に生かした施策展開を



動画

問 常陸風土記の丘は、県内屈指の

桜の名所として市内外から多くの観光客が訪れ、にぎわいを見せていますが、周辺道路の渋滞や駐車場不足は長年の課題です。市の改善策について伺います。

ちびっこ広場を利用する保護者の方々から、わくわく感が欠ける、小さな子どもが遊べる遊具がないとの声もあ

ります。遊具の拡充や訪れたくなる魅力ある複合型の大型遊具の設置に踏み出してもいいと思

いますが、見解を伺います。
獅子頭展望台は石岡市のシンボル、唯一無二の観光資源ですが、ポテンシャルを十分に生かし切れているか、疑問が残ります。資産価値の認識や今後の施

策展開について、見解を伺います。

当市の認知度向上には、SNSの拡散が一

番手つ取り早いですが、例えば、獅子頭のライ

トアップなど、夜の観光資源創出はどうでしょうか。個人的には、獅子頭の目が光る獅子

ビームのような、誰もが驚く大胆な仕掛けに取り組んでもらいたいと思

います。
遊具を拡充した場合

は、多くの方々にご利用いただけると思

えますが、複合型の大型の遊具の整備については、多額の費用も要すため、財源の確保が課題であると認識しています。

常陸風土記の丘の獅子頭は、多くのメディア等に取

り上げられ、市を代表する観光スポットです。桜と日本一の獅子頭のコラボレーションにより、国内外から誘客促進等につなげるなど、観光振興の交流促進等に取り組みたいと考えています。



▲風土記の丘の獅子頭

常任委員会の活動

石岡市議会には3つの常任委員会が置かれており、各委員会は、担当する部門に関する市の業務内容の調査や、議案と請願・陳情の審査などを行っています。委員会は議会の閉会中も開催しており、積極的な議論が交わされています。

ここでは、最近の委員会において議論された主な内容をご紹介します。

総務企画委員会

3月16日に開催した当委員会では、執行部から、令和6年3月に閉校となった旧高浜・旧三村・旧関川小学校の3校の今後の利活用について、公募型プロポーザルにより事業者選定を行った結果、優先交渉権者を決定したとの報告がありました。

旧高浜小学校は株式会社サザコーヒーロースター。旧三村小学校はインパクト・ファブリケーション共同事業体。旧関川小学校は株式会社C.GREEN。各事業者は提案書及びプロポーザルを通して地域貢献について意欲的な意見のほか、避難所としての利活用に協

学校跡地の利活用

力的な意見を伺っているとの説明がありました。

説明を受け、委員からは、「各小学校の提案価格、土地の貸付の金額差はどこから差が出てくるのか」との質問があり、執行部から、「事業者からの提案内容で、全体的な事業計画の中で貸付料として市に支払うことができる金額をそれぞれ出してもらったもので、この内容も含めての審査結果」との答弁がありました。



▲旧関川小学校

文教厚生委員会

1月21日、2月24日、3月13日に開催した当委員会では、産科医療施設の誘致に関して、執行部から説明がありました。開設医療法人は医療法人社団柵杏会、開設場所を旧イオン隣接地とし、令和10年度中に開設を目標としている旨が説明されました。また、公益性の高い事業であるため、土地を法人へ無償貸与する方針であり、今後これらを含めた具体的な事項に関する協定締結に向けて協議を進めていくとの報告がありました。

説明を受けた委員からは、「建設費や運営費の補助

産科医療施設誘致

を行うとのことだが、赤字になった場合はどのようなのか。大病院において不採算部門だと言われているようなところが、人口規模も少ない石岡市で大丈夫なのか不安がある」との質問があり、執行部から「法人側からは、支援金の額や年数が決まった段階で、それ以上のものは一切求めない意思表示をいただいている」との答弁がありました。



産業建設委員会

当委員会では、複合文化施設（市民ホール）整備事業について継続的に調査を行ってきました。

1月29日開催の委員会では、基本設計業務委託について、執行部から、プロポーザル方式により最優先交渉権者が決定した旨の報告がありました。委員から、その選考過程において、市で定める要綱上、本来評価委員長に就くことができない者が委員長に就いて委員会を行っていたこと、また、非公開であるはずの参加事業者名と思われる情報が市内に流布されていることについて指摘がありました。

複合文化施設基本設計業務委託

1月30日開催の第1回臨時会で「複合文化施設基本設計委託契約の延期を求める決議」が可決された後、2月4日、2月20日、3月6日と、集中的に委員会を開催しました。執行部からは、市内に流布されていた参加事業者と思われる事業者名と実際の参加事業者7社のうち6社がプロポーザルに参加していたこと、また、受託事業者を再度選考する方針が示されました。



▲産業建設委員会の会議録はこちら

議会報告会を開催しました



議会報告会

石岡市議会では「開かれた議会」を目指し、平成28年度から「議会報告会」を開催しています。

令和7年度は、令和8年2月3日に第10回となる報告会を石岡第二高等学校で開催しました。

将来の石岡市を担っていく若い世代と議員が直接交流することで、石岡市の様々な課題について活発な議論が交わされました。



議会報告会の様子

議員研修会を開催しました



議員研修会

石岡市議会では、議員の資質向上を図ることを目的に、議員研修会を開催しています。

令和8年2月10日、中央大学法学部教授の磯崎初仁氏を講師にお招きし、『地方創生と議員の役割―「政策に強い議会」をつくる』をテーマに、議員研修会を開催しました。地方創生・政策提案といった議員力の向上を認識するための、有意義な機会となりました。



議員研修会の様子

新たな石岡市議会議員

令和8年4月26日執行の石岡市議会議員一般選挙で選ばれた議員は以下のとおりです。

鈴木行雄	高野 要	岡野孝男	菱沼和幸	池田正文	関口忠男
村上泰道	山本 進	谷田川泰	玉造由美	櫻井 茂	川井幸一
新田 茜	石橋保卓	飯村一夫	鈴木康仁	中根淳一	富田雅史
鈴木将史	高栖 敬	櫻井雅博	溝口尚也	—	—

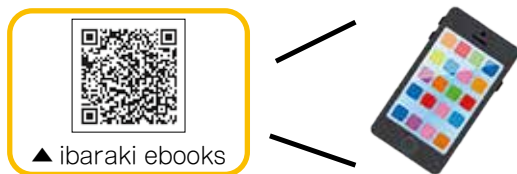
第2回定例会の予定

6月

月日	内 容	場 所	中継
6月 2日(火)	開会日(議案の提案理由説明など)	本会議場	○
6月 4日(木)	議案質疑	本会議場	○
6月 5日(金)	文教厚生委員会	委員会室	
6月 8日(月)	総務企画委員会	委員会室	
6月 9日(火)	産業建設委員会	委員会室	
6月10日(水)	議会運営委員会	全員協議会室	
6月11日(木)	閉会日(議案の採決など)	本会議場	○

最新の情報につきましてはホームページにてご確認ください。
新たな正副議長、委員会構成などについては、次号に掲載します。

いしおか市議会だより、
デジタルブック配信中!



▲ ibaraki ebooks

※デジタルブック配信は、発行日からおおむね1週間以内に行っています。

